

氏名	笠 井 英 夫		
学 位 の 種 類	医 学 博 士		
学位授与番号	乙 第 903 号		
学位授与の日付	昭和 52 年 12 月 31 日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 5 条第 2 項該当)		
学位論文題目	奇形耳小骨の形態に関する臨床的ならびに胎生学的研究 ー特にツチ・キヌタ, キヌタ・アブミ関節についてー		
論文審査委員	教授 大内 弘	教授 新見嘉兵衛	教授 大塚長康

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

岡山大学耳鼻咽喉科教室で施術された伝音系奇形 124 耳の奇形耳小骨の病態を統計的に観察し、特にツチ・キヌタ関節およびキヌタ・アブミ関節の異常について胎生学的観察結果と比較対照して考察した。

キヌタ・アブミ関節の異常例はツチ・キヌタ関節の異常にくらべて発症率が高い。これは胎生学的に、ツチ・キヌタ関節は一原基の間葉性細胞凝集から分化、形成されるのに反し、キヌタ・アブミ関節は原基の異なる二つの間葉性細胞凝集が接するあたりで形成されるという点、またキヌタ・アブミ関節の完成はツチ・キヌタ関節のそれよりも 1 カ月遅れる、などキヌタ・アブミ関節の方が位相的にも時間的にも催奇因子の影響を受けやすいためであろうと考按した。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は耳小骨奇形の臨床例を統計的に観察し、これをヒト胎児連続切片標本による耳小骨形成過程と比較研究したものであるが、これら奇形の発生要因の解明に資する重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。